

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：総務事務センター

担当名：財務・旅費・文書管理システム担当

内線：2378

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B36	文書・財務・旅費システム運用管理事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	総務事務集中管理費		
事業期間	平成16年度～	根拠法令	なし				宣言項目	SDGsゴール	8, 9, 17	
							分野施策	SDGsターゲット	8-2, 9-1, 17-14	
<b>1 事業の概要</b> 業務システム（文書管理システム、財務会計システム、旅費システム等）は県の業務の基幹となるシステムである。業務システムは電子県庁の基幹であることから、安全・確実な運用を最優先して運用管理を行う。 (1) システム運用管理 407,544千円 (2) 事務集中処理 109,824千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア システム運用管理 407,544千円 システムの維持管理、運用委託、機器賃借 ・文・財・旅費システム運用 129,690千円 ・機器及びソフトウェア等賃貸借 250,668千円 ・収納データ等作成・MPN収納業務 13,900千円 その他の維持管理等経費(ライセンス料、回線費、空調機等維持等) 13,286千円 イ 事務集中処理 109,824千円 業務システムを利用する職員へのヘルプ、業務システムの操作研修、調整を要する旅費の代行入力、旅行用務先の登録及び旅費請求書の作成 ・業務システム運用サポート・旅費代行入力等業務委託 105,600千円 ・統合基盤システム運用・監視業務委託 4,224千円 (2) 事業計画 ア 業務システムを安定的に稼働させ、稼働率100%、セキュリティ事故ゼロを目指す。 イ 財務会計、旅費システムについて、制度改正に対応するとともに機能改善を図る。 (3) 事業効果 ア 稼働率100%、セキュリティ事故ゼロ イ 財務会計、旅費システムの機能向上によりシステム価値が向上する。						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)										
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(単位費用) (区分) 包括算定経費(細目) 企画費 (細節) 情報管理等費 (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×10.4人=98,800千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
決定額	517,368	県債						517,368	△105,227	
前年額	622,595	6,000						616,595		